

武漢事務所週刊ニュース (2016. 7. 9-2016. 7. 15)

2016年7月9日

天河空港が夏休みに国際チャーター便増発

60日間の夏季旅行シーズンの幕開けにより、武漢天河空港が国際旅行チャーター便を増発する。

これまでに開通した航路は、(1)武漢—韓国江原道。2週間に3便で23:20武漢発。(2)武漢—クアラルンプール。前期は2週間に3便で23:25武漢発、後期は毎日1便運航する。(3)武漢—ペナン—クアラルンプール。水、金、日の週3便の運行で、23:25分武漢発。

昨日、徳威航空(TwayAir)が武漢から韓国務安までのチャーター便を復活させ、2週間に3便が運行する。23:00に武漢を立ち、翌日2:10に務安に到着する。7月10日には、フィリピン航空が武漢—セブ路線が新たに開設予定で、2週間に3便運航する。00:35に武漢を立ち、4:50にセブに到着する。7月13日には、インドネシア獅航(lion air)が武漢—インドネシアマナド路線を開通。週に1便で17:05に武漢を立ち、22:00にマナドに到着する。

調べによると、夏季旅客輸送シーズンに天河空港からロシアサンクトペテルブルク、ラオスアンプラバン、タイのサムイ島など多数の国際チャーター路線が運行を開始するという。

2016年7月14日

東風本田上半期の販売量激増、前年比42.7%

東風本田汽車有限公司が最近データを発表し、2016年上半期、当社の完成車販売数が24万7,130台に達し、前年同期比より42.7%増え、国内市場全体の増加幅を大幅に上回った。

データによればCR-VとXR-Vの2モデルがあるSUV車種は依然として販売の主力でそれぞれ8万3,173台と7万706台を販売した。エリシオンは1万2,230台を販売し、前年比242.1%増加と増加幅が最も顕著であった。4月、第十代シビックが登場してモデルチェンジが完成した。上半期、新旧シビックが共に2万6,001台販売、その中に新型シビックのオーダー数量が累計4万台を超えた。新モデルのシビック販売量が次第に佳境に入っており、販売量は1万1,260台に達し、前年比40.8%の増加となった。ジェイド、思銘(CIIMO)などの車種は販売量がやや減少した。

11日、中国汽车工业协会がデータを発表し、上半期国内自動車の生産量と販売量はそ

れぞれ 1,289.2 万台と 1,283 万台、去年同期よりそれぞれ 6.5%と 8.1%増加した。東風本田の販売量の増加幅は市場全体の増加幅の約 5 倍になったという。